

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 14 日 (2019.11.14)

【公開番号】特開 2019-72549 (P2019-72549A)

【公開日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【年通号数】公開・登録公報 2019-018

【出願番号】特願 2019-9135 (P2019-9135)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 2 日 (2019.10.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動口に入賞すると第 1 図柄の可変表示が実行可能であり、
可変始動口に入賞すると第 2 図柄の可変表示が実行可能であり、
前記可変始動口を開放状態と閉鎖状態とに制御する可変始動口開閉手段と、
遊技者に利益を付与する大当り遊技を実行する利益実行手段と、
前記大当り遊技への移行契機となる小当り遊技を実行する小利益実行手段と、
可変表示に関する情報を、上限数を限度に保留記憶として記憶する保留記憶手段と、
前記可変始動口開閉手段により前記可変始動口を前記開放状態とする時間が長くなる時
短状態へ前記大当り遊技の終了後に制御可能な遊技状態制御手段と
を備え、
前記第 1 図柄よりも前記第 2 図柄の方が前記大当り遊技を実行する割合が高くなってお
り、

前記遊技状態制御手段により前記時短状態に制御されている可変表示において前記第 2
図柄の前記保留記憶が前記上限数となるように前記保留記憶を貯めさせる保留促進演出が
実行され、

前記時短状態が終了した後の通常遊技状態において、前記上限数まで記憶された前記第
2 図柄の可変表示において特定表示結果が導出されたときに前記小当り遊技が付与され、
該小当り遊技を実行すると略 100% の確率で前記大当り遊技へ移行するようになってお
り、該大当り遊技後には再び前記時短状態に制御される
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段 1：始動口に入賞すると第 1 図柄の可変表示が実行可能であり、
可変始動口に入賞すると第 2 図柄の可変表示が実行可能であり、
前記可変始動口を開放状態と閉鎖状態とに制御する可変始動口開閉手段と、

遊技者に利益を付与する大当り遊技を実行する利益実行手段と、
前記大当り遊技への移行契機となる小当り遊技を実行する小利益実行手段と、
可変表示に関する情報を、上限数を限度に保留記憶として記憶する保留記憶手段と、
前記可変始動口開閉手段により前記可変始動口を前記開放状態とする時間が長くなる時
短状態へ前記大当り遊技の終了後に制御可能な遊技状態制御手段と
を備え、
前記第 1 図柄よりも前記第 2 図柄の方が前記大当り遊技を実行する割合が高くなってお
り、
前記遊技状態制御手段により前記時短状態に制御されている可変表示において前記第 2
図柄の前記保留記憶が前記上限数となるように前記保留記憶を貯めさせる保留促進演出が
実行され、
前記時短状態が終了した後の通常遊技状態において、前記上限数まで記憶された前記第
2 図柄の可変表示において特定表示結果が導出されたときに前記小当り遊技が付与され、
該小当り遊技を実行すると略 1 0 0 % の確率で前記大当り遊技へ移行するようになってお
り、該大当り遊技後には再び前記時短状態に制御される
ことを特徴とする遊技機。